

# 深谷にぎわい工房

## ニュース No. 1

2002年12月号（創刊号）

発行日：2002年11月30日（隔月発行）

発行所：特定非営利活動法人 深谷にぎわい工房  
中山道オフィス 〒366-0822 埼玉県深谷市仲町1-13  
（中山道仲町交差点近く「活性化サロン一休」内）

メール：owner-fnk@freeml.com

ホームページ：http://www.geocities.co.jp/

HeartLand-Cosmos/1107/fnk/

「深谷にぎわい工房」は、地域社会における生活の質の向上と活性化に貢献するために、まちづくりに関する調査・研究の実施、情報受発信、セミナーやイベントの開催、政策提言等を行うNPO（Non-Profit Organization：非営利組織）です。

## 深谷にぎわい工房「特定非営利活動法人」として認証される！

2002年11月7日、深谷市都市マスタープランまちづくり協議会の有志を中心に結成された「深谷にぎわい工房」が、埼玉県庁から「特定非営利活動法人」としての認証を受けました。「特定非営利活動法人」とは、1998年12月1日に施行された「特定非営利活動促進法」に基づいて認証を受け登記された法人のことです。

## 深谷にぎわい工房が目指す「生活街」

深谷にぎわい工房は、「中心市街地再生の原則」に基づき、深谷の中心市街地を「生活街」として再生することを目標としています。「生活街」とは、人々が「住み」「働き」「学び」「遊び」「集い」「商う」生活の場。「中心市街地再生の原則」とは、まちづくりの基本的な考え方で、次の10の原則で構成されています。

- (1) 居住、商業、業務、行政、文化、福祉など様々な用途・機能を複合させる
- (2) 低未利用地の有効利用を促進する
- (3) 歩行者、自転車などの歩行者系を優先する街路空間とする
- (4) 公園、河川、寺社などの緑と水をネットワーク化する
- (5) 多様な街なか産業を育成する
- (6) 歴史の文脈を読み取り、中心市街地が持っている価値と可能性を引き出す
- (7) 空間の美しさを追求する
- (8) 防災性能の向上
- (9) ユニバーサル・デザインの促進
- (10) まちづくりを進めるための人材育成と組織支援

## 深谷にぎわい工房の活動拠点「一休」

深谷TMOの空き店舗対策事業によってできた活性化サロン「一休」。ミーティング・スペースには中山道周辺模型も展示されています。隣りには市民ギャラリーもあります。お気軽にどうぞ。



## 深谷にぎわい工房ができるまで

- 2001年3月：深谷市都市マスタープラン策定のためのまちづくり協議会が発足
- 2001年4月：深谷市都市マスタープランまちづくり協議会に7つのテーマ別班が結成される。中心市街地活性化班も都市マスタープランの提案に向けた積極的な活動を展開。提案がまとまった2002年春、中心市街地活性化班としての活動は終了
- 2002年2月～5月：中心市街地活性化班のメンバーの呼び掛けにより、まちづくり協議会有志によるNPO勉強会を開催（5回）
- 2002年7月1日：「深谷にぎわい工房」設立総会
- 2002年7月10日：「深谷にぎわい工房」埼玉県庁に特定非営利活動法人認証申請
- 2002年11月7日：特定非営利活動法人認証

## 深谷にぎわい工房の役員紹介



役員：松本博之（理事長）、大塚博・加藤博司・柳瀬崇・大高一彦（副理事長）、小泉秀樹・竹石研二・山口達男・村山顕人・片田宏子（理事）、田沼克彦（監事）--写真の順番とは異なります。

## 深谷にぎわい工房のプロジェクト

### ◎深谷地酒蔵元ツアー

深谷市の日本酒の造り酒屋を訪ね、深谷の銘酒を味わいながら、歴史的資産の価値を考えます。

[主催] 特定非営利活動法人 深谷にぎわい工房

[共催] 深谷商工会議所・深谷市観光協会

[協力] 深谷銘醸会（藤橋藤三郎商店・田中藤左衛門商店・滝澤酒造(株)・丸山酒造(株)）

### ◎深谷TMO空き店舗対策事業等への参加

深谷TMO空き店舗対策事業は「深谷タウン・マネジメント構想」（2001年12月）に位置付けられた事業で、これにより、中山道沿いの2件の空き店舗に、活性化サロン「一休」・中山道ギャラリーとミニシアター「チネ・フェリーチェ」・「FUKASHOP彩商館」が誕生しました。深谷にぎわい工房は、活性化サロン「一休」内に中山道オフィスを置き、その管理・運営に協力しています。また、深谷にぎわい工房は深谷TMO情報発信事業にも協力しています。

### ◎深谷市都市マスタープラン策定委員会への参加

深谷市では、2001年から、都市計画法第18条の2に基づき、都市の空間形成（物的環境形成）の方針を定める都市マスタープランの策定作業が行われています。2001年度は、100人を超える市民委員で構成されるまちづくり協議会で、深谷市全体の空間形成に関する検討が行われ、深谷市都市マスタープラン全体構想の協議会案がまとめられました。2002年度は、協議会案をもとに、策定委員会において素案が検討されています。深谷にぎわい工房のメンバーは深谷市都市マスタープラン策定委員会に参加しています。

### ◎深谷市バリアフリー基本構想市民検討会への参加

深谷駅周辺のバリアフリーを一体的・重点的に進めるための「深谷市バリアフリー基本構想」が策定されています。その中で、当事者（高齢者・障害者等）の意見を把握し、当事者による構想内容の確認を行う組織として、市民バリアフリー検討会が開催されています。検討会のメンバーは、高齢者・障害者・その他一般市民で、メンバーは固定されず、毎回募集されます。深谷にぎわい工房のメンバーは深谷市バリアフリー基本構想市民バリアフリー検討会にも参加しています。



## 今後のプロジェクト

深谷にぎわい工房は、現在、深谷市役所及び他の関連団体と協働で、文部科学省生涯学習まちづくりモデル支援事業の企画を行っています。この事業の一環として、「街なか再生シンポジウム」（日本政策投資銀行 藻谷氏講演など：2003年1月後半を予定）、「まちづくりフォーラム」（2003年3月中旬を予定）等のイベントが開催される予定です。最新情報は、活性化サロン「一休」及び深谷にぎわい工房ホームページで御覧下さい。

(<http://www.geocities.co.jp/>

HeartLand-Cosmos/1107/fnk/)

## 会員募集中

深谷にぎわい工房では、現在、会員を募集しております。会員の皆様には、ニュース・レターの送付、メール・マガジンの配信、メーリング・リストへの登録、セミナーやイベントの参加費割引、各種事業（自主・受託・助成）への参画案内、会員のまちづくり活動へのサポート等のサービスを提供いたします。詳しくは活性化サロン「一休」またはホームページにて。

### ●年会費

正会員	個人会員・団体会員	5,000円
賛助会員	個人会員	2,000円を1口以上
	団体会員	2,000円を5口以上